

<主な取組>

10-① 2026年に本県で開催される第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）・第25回全国障害者スポーツ大会を通して、本県選手の競技力向上と県民のスポーツに対する意識醸成に取り組みます。

10-② 楽しく体を動かし、運動を習慣化させる機会の創出を推進します。

10-③ スポーツ科学に基づいたスポーツ指導を推進するとともに、指導者などの人財育成により、幅広い年代における競技力の向上に取り組みます。

10-④ スポーツ関連イベントの誘致など、スポーツを楽しむ心を育む機会の充実に取り組みます。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R6決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
10-①	競技力向上事業	105,169	●本県の競技力向上を図るため、（公財）青森県スポーツ協会を介して、競技団体等が実施する強化活動を支援する。 ▶国スポ正式競技団体、県中体連、県高体連の各専門部等が行う強化活動の支援。（強化合宿等に要する経費の補助金交付） ・総合選手強化事業41団体 ・中学生強化事業33団体 ・高校生強化事業48団体 国スポでの得点獲得にはつながっていない競技においても、東北総スポで順位の向上や国スポ出場を果たした競技の増加が見られるなど着実に競技力向上が図られている。
10-②	地域スポーツクラブ活動体制推進事業	25,105	●休日の運動部活動の地域移行について、地域の実情を踏まえ、関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、事業成果の普及に努めるとともに地域移行に向けた取組を推進する。 ▶三本木高校附属中学校をモデル校に、休日の部活動の地域移行に向けて実践研究を進めた。令和6年度は対象部活動を増やすことができたが、1学校単位による取組であることから地域クラブの運用費の確保に課題が残る。 ▶市町村の部活動担当者を対象とした地域クラブ活動推進協議会を開催。国の動向や他県の先進事例、県内の取組状況について情報提供するとともに、市町村の現状及び今後の方向性等について、地域や市・町・村ごとに協議し、市町村間の連携について検討を進めることができた。 ▶地域クラブの指導者の確保について、人材バンクのシステムを構築し、令和6年度からの運用を開始。県教育委員会内に総括コーディネーターを配置することにより、各市町村への巡回訪問による実態の把握や関係団体との連絡調整、助言等を円滑に行うことができたが、人材バンクは各市町村が必要とする登録者の十分な確保には至っていない。今後もスポーツ指導経験やスポーツトレーナー資格等を有する社会人やシニア世代、大学生など目的に合った人材確保に努めるとともに、指導者資格の支援方法について検討していく。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R6決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
10-③	競技力向上対策 特別事業	301,432	●本県の競技力向上を図るため、各種強化事業を実施する。 ▶各競技の強化拠点として活躍が期待される学校や幅広い年代のクラブ、本県代表として活躍が期待される選手を指定し、各団体・各選手の強化活動の補助を実施。また、高校生以下の選手のうち、極めて優秀な成績を有する将来有望な選手を特別強化指定選手として指定。 ・強化拠点116団体 ・強化指定選手334人（特別強化指定選手16人） ▶競技力への影響力が大きく、得点獲得へ結びつきやすいとされる競技艇や馬匹といった特殊競技用具等を整備。 ・ローイング4艇 ・セーリング2艇 ・カヌー7艇 ・馬匹2頭 ▶有力選手の県内定着に向け、選手を雇用した県内企業に対する奨励金の支給、県内企業へ就職した有力選手の強化活動の補助、県内企業への就職に結びつけるための対策本部による選手の雇用を実施。 ・企業雇用10人 ・本部雇用22人 各種取組により、R6佐賀国スポでは入賞数が増加し、男女総合成績の上昇につながった。また、県内企業へ就職した選手は3人、本部雇用の選手は10名が入賞した。雇用した選手は国スポでの競技点獲得のほか、県内選手との合同練習や直接指導などにより、競技団体全体の競技力の底上げに貢献している。
10-④	「スポーツでみんな を元気に」健康力 アップ事業	3,468	●地域スポーツの担い手となる総合型地域スポーツクラブが市町村のスポーツ部局や健康部局及び体育（スポーツ）協会等と連携し、本県及び地域の健康課題を踏まえた運動・スポーツ活動の実施に取り組む。 ▶県内の総合型地域スポーツクラブ等を対象に、健康課題克服に向けた実践的な取組内容等の検討や、総合型地域スポーツクラブと市町村行政等との連携の必要性についてのワークショップを開催し、相互理解を図り、連携の必要性について理解を深めることができた。 ▶地域ごとにモデル指定する6クラブにおいて、市町村スポーツ部局や健康部局、体育（スポーツ）協会等で構成する検討協議会を開催。地域の健康課題に向けた実践的な取組内容や関係団体等との連携方法について検討した。検討内容等をもとに、モデル指定クラブが地域の実情に応じたスポーツ活動を実施し、スポーツを通じた健康づくりの充実を図ることができた。また、6クラブの3年間の取組事例をまとめた「実践事例集」を作成し、3年間の実践成果発表会を開催。地域の実情に応じた活動の実践等について周知が図られた。

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
① ③	国民体育大会（国民スポーツ大会） の男女総合成績（天皇杯順位） 及び女子総合成績（皇后杯順位）	(R5) 天皇杯 40位 皇后杯 36位	天皇杯・皇后杯 ともに20位以内	天皇杯 23位 皇后杯 15位				
② ④	県内の総合型地域スポーツクラブの 会員数	(R5) 5,847人	9,500人	6,112人				
① ② ③ ④	県内の日本スポーツ協会公認スポーツ 指導者登録者数	(R5) 2,829人	3,115人	3,101人				

<今後の方向性>

- 青の煌めきあおもり国スポの開催に向けた競技力向上（選手の発掘・育成、有力選手等の県内定着の推進等）
- スポーツに親しむ環境の充実や、地域住民の運動習慣の定着に向けた取組の推進（こどもたちが運動に親しむ機会の充実、総合型地域スポーツクラブの活動充実に向けた支援等）